

MATSUNAGA HEADLINE NEWS



2012 Vol.18

TAKE FREE
冬の増ページ号

発行元：株式会社 松永建設
 発行人：松永大祐
 〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号
 TEL ▶ 048-798-1751 (代)
 TEL ▶ 0120-980-633 (フリーダイヤル)
 FAX ▶ 048-798-0075
 URL ▶ <http://www.matsunaga.gr.jp>

感動創造建設会社
 株式会社 松永建設

〈建築〉埼玉県「優秀建設工事施工者」表彰 埼玉県「県土づくり優秀現場代理人」表彰
 〈土木〉さいたま市「優秀建設工事業者」表彰

優良工事 トリプル受賞!



この秋、松永建設は、優良工事に対して贈られる栄誉ある3つの賞を受賞しました。適正な施工管理による、優秀な成績を収めた工事に授与される賞です。「感動創造建設会社」を目指す弊社にとって、その姿勢と努力が認められたことを示す栄誉ある受賞。早速、担当者の喜びの声をお届けいたします。

松永建設はこの秋、優秀な建設工事に贈られる栄えある賞を受賞し、去る11月中旬、表彰式に臨んでまいりました。今年は土木部と建築部の両部門におけるダブル受賞であり、その上、建築部門はもうひとつの賞も同時受賞という、栄光のトリプル受賞となりました。評価を受けた点はまさに、松永建設が目指す「企業のあり方」として努力を重ねてきたところであり、そこを認めていただいたということは喜ばしい限りです。

今回受賞した1つ目の賞は、「平成24年度 埼玉県優秀建設工事施工者表

彰」における特別奨励賞です。対象工事3,254件の中から、特に優秀な工事8件に対し知事から贈られたもので、知事公館にて栄えある表彰を頂戴しました。受賞対象となった工事は「11春日部女子高校部室・弓道場新築工事」。高校敷地内の奥まった場所での難工事、また生徒たちの安全を守りつつ、授業の邪魔をしないという非常に配慮すべき点が重なった現場での工事でした。ゆえに発注者や学校側との良好な関係構築と、綿密なやりとりを経て、無事に工事を成し遂げたことに対して、大きな評価をいただきました。この工事ではさら

に、「埼玉県 県土づくり優秀現場代理人表彰」も同時受賞し、二重の喜びとなりました。

土木部門に関しては、「平成24年度さいたま市優秀建設工事業者表彰」を受賞しました。これは土木部が施工した「荒川第4処理分区下水道工事」に対しての授与となり、885件の対象工事の中から選ばれる栄誉となりました。当該工事は、下水道管の新規布設工事ですが、地盤条件の悪い工事場所であるなか、現場状況に応じた工法変更を迅速に行い、工事を良好に終えたこと、また近隣住民や学校に対して環境維持・事故防止に努める姿勢を評価していただきました。

「お客様に感動を差し上げたいという観点から、『提案力』を大切にする企業として邁進してきた、それゆえの表彰だ

と思っています。幸いにもここ数年、連続で表彰をいただいていることは、弊社にとって何よりの光栄であると同時に、一丸となって頑張ってくれている社員の働きあってこそと痛感しています」と、知事表彰に臨んだ喜びの声を松永社長は語ります。

引き続き2面で、各工事の詳細と施工における努力についてお伝えしましょう。



建築：埼玉県「優秀建設工事施工者」表彰・「県土づくり優秀現場代理人」表彰 配慮こそが難工事を勝利に変えた



今回2つの賞を受賞した本工事は、高校の奥まった敷地内という難しい現場に、1階・部室棟、2階に全長28メートルの弓道場をつくるというものでした。「弓道場というのは、どこの学校でもたいてい最後に建てることの多い施設。今回も例外ではありませんでした。学校の敷地内をあちこち曲がりながらたどり着く、しかもウナギの寝床のような場所での施工はやはり大変でした」と語るのは、現場所長を務めた建築部 工事グループの小松原富雄参与です。

高さ3メートルほどの渡り廊下の下を

くぐらなければならない工事動線は、特に苦労の連続だったといいます。当然ながら工事車輛も小型のものしか入ることができず、鉄骨など、建材の搬入は困難を極めました。また、現場自体も非常に細長い形状だったため、奥から順に施工していき手前に逃げていくという、工事現場においては少々奇抜な手法をとることでようやく難問は解決しました。

加えて、生徒さんなど人の出入りが多いことも難工事たる所以でした。安全の確保は最も重要な課題。施工が夏から秋にかけてだったため、体育祭、文化祭といった校外からの来客の多い行事が相次ぎ、学校側との事前の打ち合わせは入念すぎるほど入念に行いました。それが今回の評価に何よりつながったのではないかと、建築部の畠中宏毅部長は振り返ります。「校内という特

殊環境のなか、学校側と良好な関係を保つことができた点は、受賞の最大のポイントだったと思います。また、奥から順に施工を進める工法もそうですが、ほかにも生徒さんや、施工をする我々にとっても安全でスムーズな工事となるよう、たくさんの提案ができたことも受賞の一助となったことは間違いありません」(畠中部長)

そうした段取りの良さと各方面への配慮が功を奏し、本工事は予定よりも3カ月あまり早く竣工する運びとなりました。当初は次年度からの使用を予定していましたが、生徒さんたち待望の部室棟ということもあり、できる限り早い引き渡しを目指したのです。結果、短期間ではありましたが、卒業していった3年生にも部室棟体験を叶えてあげることができ、お客様の夢につながる仕事となりました。



▲完成した2階弓道場(写真上)と1階部室棟を含む外観(写真下)。それまで部室がなかった春日部女子高校の生徒さん達にも大変喜んでもらった本工事は、まさに感動創造建設会社の面目躍如。小松原参与は学校から感謝状を頂戴するという、異例ながらも嬉しい結果に



▲建築部 工事グループ
小松原富雄参与



▲建築部
畠中宏毅部長

土木：さいたま市「優秀建設工事業者」表彰

土木工事の基本と提案力 そして勝ち得た栄誉



「受賞できたポイントは、一に調整力、二に提案力だったのではないのでしょうか」と語るのは、土木部工事グループの丸山慎二係長。「さまざまな会社が各工区を受け持って施工を行った工事でした。そのため進捗状況などの煩雑な調整が必要でした。また、近隣には地元根づいた農家やお年寄りの方が多かったので、良好なコミュニケーションも欠かせませんでした。挨拶や世間話などをまめに行い仲良くすることが、実は工事をスムーズに運ばせ、できるだけ近隣に迷惑をかけないようにすることにつながります」と丸山係長は当時を振り返り、調整力の大切さを語ります。

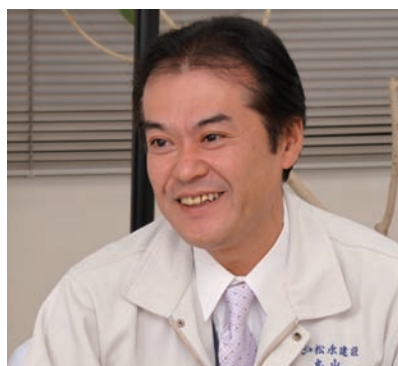
今回の工事は1.8kmもの距離を掘り進んで下水道管を新設するというもの。一部地盤状態が悪く、設計通りには進められそうもないことが判明し、弊社から工法の変更というアイデアを提供しての施工となりました。もともと一部の箇所は、地表を掘り起こさない「推進工法」という工法を進める予定でした。専門の機械を使用し見えない地中を掘り進む、特殊かつ、環境や騒音に配慮した工法です。ところがそこに地盤の悪い箇所が見つかり、

その300mほどは事前に予定されていたものとは別種の推進工法をとるほうが賢明だということが判明したのです。そこで、今回の受賞のカギともなる新たな提案を行いました。

「地盤が悪かったのでできませんでしたが、では済まされないのが我々の仕事です。工法変更の提案は、その意味では必然だったと思います。とはいえ交渉のしかたをひとつ間違えれば、最初の設計を否定することにもなりかねません。ですから資料を添え、予定されていた推進工法では難航しそうなことを理解していただくところから、丁寧に提案を始めました」と丸山係長。受賞の報を聞いて「間違いではないかと思いました」と笑う丸山係長ですが、こうした地道な努力が実を結んだ結果の受賞であったことは言うまでもありません。「工事表彰に常連はありません。それだけ獲るのが難しい賞。これまで我々がやってきたことは正しかったと確信を持ちました」と土木部の松山敏彦部長も結びました。まさに発想力と提案力、そしてコミュニケーション力が勝ち取ったこの栄誉を次につなげていくことが、さらなる発展への道筋になるでしょう。



▲始点と終点に立坑を掘るだけで、地表を掘り返さない推進工法。廃土も騒音も少ない環境重視の工法だ。写真上は、立坑に掘進機を入れて油圧ジャッキで掘り進める作業の様子。左は巨大な掘削機を使って、立坑そのものを道路に空ける作業工程。推進工法だけで総長1kmほど、立坑を21本も掘る大工事だった



▲土木部 工事グループ
丸山慎二係長



▲土木部
松山敏彦部長

ABオービット

Advanced Builders 鉄筋コンクリート賃貸マンション

続々完成!

土地活用で守る「未来の暮らし」

お客様の将来を守る私設年金に——。ABオービットは松永建設がプロデュースする、低コスト・高パフォーマンスの鉄筋コンクリート賃貸マンションです。この秋、5棟のABオービット物件が相次いで完成！早速、竣工レポートをお届けします。



◀上質な御影石を使ったエントランス。ポルディー色の扉とあいまって、エレガントで重厚な雰囲気が漂う。ABオービットでは御影石とオートロックは標準仕様。耐用年数が木造建築の約2倍である鉄筋コンクリート造を採用しているのと同様、お客様の資産価値をより高める趣旨だ



▼最上階オーナー宅には屋上庭園も完成。庭を彩る敷石や石壺は、オーナー様の前住居から大切に移設した。また屋上には太陽光発電12kWも完備。新たにスタートした全量買取制度を利用し、大きな収益を生んでいる



「あとは内部の仕上げ工事を残すだけとなって、外周の足場を外したときは、安堵に胸をなでおろしました」ホッとした表情でそう語ったのは、浦和駅前に誕生した新築ABオービット物件「ブラン・コライユ」の建築現場を統括した飯塚利彦所長。それもそのはず、ブラン・コライユは、東口から徒歩1分という絶好の立地にふさわしい、鉄筋コンクリート造12階建ての堂々たる高層マンション。以前あった建物の解体工事まで含めると20ヵ月に及んだ大工事だったからです。大規模な施工にあたっては、安全と近隣への配慮を何より念頭におかなければなりません。飯塚所長たちは100軒を超える近隣のお宅を1軒1軒回り、工事の説明と同意の取り付けに奔走するところから始めました。「土下座をして理解を求めたこともありましたが、工事がいざ始まってからも、ごく慎重に。何しろ高さが約40mの建物で

すから、釘1本落としても大事に至ります」(飯塚所長) 工事完了の挨拶に回った折には、一緒になって近隣の方たちも喜んでくれたそうです。無事故で終わったこと、そしてそのための努力を惜しまなかったことが報われた一瞬です。

ブラン・コライユの事業計画は、5年近く前にバルコが建ち、浦和駅東口の再開発が成ったことを機にスタート。土地活用をするなら、東口に人が集まる流れができてからのほうが良いという判断でした。そして、古くからこの地に住んでいたオーナー様の80年来の自宅を取り壊し、手前に駐輪場、後ろに木造アパートがあった所有地を一括活用することに。今ではその変形地を逆手にとるような格好で、手前に3階建てのテナントビル、中央と(写真には写っていませんが)奥に2棟の住居棟が建っています。

住戸は単身用の1Kからファミリータイプの3LDKまで多種多様。設計や配管などの観点からいけば、単一仕様のほうが圧倒的に容易なはずなのになぜでしょう?

それは「徹底的な市場調査の結果です」と、営業を担当した青木淳一グループリーダー。「浦和にはすでに単身用賃貸マンションが数多くあり、むしろファミリータイプ、それも分譲ではなく賃貸が求められていました。ABオービットの特



▲各戸玄関にも御影石

▲賃貸部分には、単身用1Kから3LDKまでの多種多様な物件がそろ。写真は11階の3LDK。どの部屋にも標準でシステムキッチンを完備し、分譲マンションにもひけをとらない



ブラン・コライユ
浦和駅 徒歩1分 RC造12階建て・47戸

徴は、建物を建てるだけでなく、その後の賃貸による高収益をお約束するところ。弊社を信用して依頼して下さったお客様を裏切れることは許されません」その甲斐あってブラン・コライユの賃貸契約は現在、大変良好です。

「自慢は、高級感あふれるエントランスと、屋上庭園を備えたオーナールームで

す」とは、設計を担当した営業企画室の園田正直。オーナールームには、旧居で使われていた無垢ケヤキの立派な一枚板など、思い出の品を持ち込み、新居の装飾などに見事に再利用、オーナー様には大変喜んでいただけました。質の高い施工であったと自負しています。



▲建築部 工事グループ
飯塚利彦所長



▲営業本部 法人営業グループ
青木淳一グループリーダー



▲営業企画室 設計グループ
園田正直

テナント棟に総合美容サロン『THE ANGE』オープン!

浦和駅西口でおなじみの「アンジュ」が、ブラン・コライユのテナント棟に東口店としてオープン。1階にメイクやネイル、写真撮影スペース、2階にヘッドスパやヘアサロン、3階にはメディカルスパ&エステを備えた総合美容サロンです。ぜひご利用ください。



『THE ANGE 浦和東口店』 TEL : 048-813-3311 毎週火曜定休



安心の賃貸マンション経営で、将来の私設年金づくりを——
続々完成! 竣工レポート Part 2



キャンディッド
東岩槻駅 徒歩20分 RC造3階建て・18戸



▲磨りガラス風のバルコニーフェンスが目にも軽やか。ファミリー向けに特化した2LDKの間取りや広い浴室に、入居見学者は「ここって本当に賃貸ですか?」と驚きを隠さない

「フォンス大門」と浦和美園の「アベテ浦和美園」です。

ABオービットではお客様に事業のご提案をする際、必ずマーケット調査に基づいて地域の特性に適した住戸タイプや戸数・仕様などをご提案していますが、今回もそれは同じです。「私が施工を担当した2棟、フォンス大門とアベテ浦和美園はオーナー様が同じ物件。しかし土地柄を考慮した結果、プランがかなり異なりました」と語るのは、建築部の魚瀬与志彦所長。「フォンス大門は東川口駅から徒歩15分ののどかな住宅地に立地するため、ファミリー入居を考えると2LDK・9戸。片やアベテ浦和美園は駅前徒歩1分。浦和美園駅は埼玉高速鉄道線～南北線の始発駅ということもあって、都内への通勤者も多い土地柄です。そのため若年単身層を想定し、1K・34戸。かなり様子が異なるでしょう?」(魚瀬所長)

一方、建築部の齊藤昌彦所長が担当した2棟はというと、「ロイヤルオークは春日部中心部の立地。少し広めの1LDK・9戸に特徴があります。また、東岩槻駅から徒歩20分という少々遠距離にあるキャンディッドは、2LDKで完全ファミリー向け。しかも18戸という規模にもかかわらず全戸に駐車場を用意し、セールスポイントを明確にしました」。

■最適な資産形成が生む
■将来の豊かな暮らし

もちろん各物件、個性に富んでいるのはプランだけではありません。岩槻上野のキャンディッドは、オーナー様の意向でバルコニーに磨りガラス風フェンスが取り付けられ、「大変お気に召していただけました」(齊藤所長)とのこと。またフォンス大門は、駅から徒歩15分という若干の弱点を補うために、ALSOKの警備カメラとセンサーをオプションで導入。夜になると人気が寂しくなる周辺環境をフォローしています。

お客様それぞれの人生設計、ライフステージや好みに臨機応変に対応し、確実に資産となるものを——。オーナー様に寄り添う賃貸マンション経営のプロジェクトとして、ABオービットが今後も皆様のお役に立てることを願っています。

▼建築部
工事グループ
魚瀬与志彦所長



▲建築部
工事グループ
齊藤昌彦所長



ロイヤルオーク
春日部駅 徒歩6分 RC造3階建て・9戸

▲石積み調のエントランス外装が、なんとも気品あふれるロイヤルオーク。実はオーナー様は建設業に携わる方。「プロの目」にかなう物件を、という緊張感をもって施工に臨んだ

9月から10月にかけて、前ページの物件「ブラン・コライユ」のほかに4棟のABオービット物件が完成しました。引き続きABオービットの特徴を交えながら、竣工した4物件のご紹介をさせていただきます。

■ムダを省いた低コスト建築と
■本物だけが持つ上質感が同居

松永建設がプロデュースする土地活用、ABオービットは、鉄筋コンクリート造の高級賃貸マンション。土地というお客様の資産、その価値をいかに高めるか?という観点から造り出された、新時代の土地活用です。

賃貸経営において高収益を求めるならば、まず「部材をムダなく効率的に使用する」ことは欠かせません。そこで、部材にムダが出ないような設計を考案し、また、すべての工程においてシステム化をはかっているのがABオービットです。その結果、建築費を大きく左右する躯体(主要構造部分)の大幅なコストダウンに成功。加えて、キッチンやバスなどの設備も、年間施工数200戸以上という事業規模を生かして、一括仕入れによるコストダウンを可能にしました。こうして、高グレードな鉄筋コンクリート造マンシ

ンでありながら、木造家屋並みの坪単価を実現しています。

ABオービットが低コスト・高パフォーマンスな物件であることは、仕様などからもわかりいただけるはず。外観は総タイル張り、エントランスには御影石張りを標準仕様。本物だけが持つ上質なグレード感が、建物の資産価値を高めます。

また、オートロックやTVモニターフォンといったセキュリティ面での標準仕様は、時代のニーズに応えるもの。一般の賃貸住宅とは一線を画すクオリティは、借り手に「ここにしよう!」と決意させる魅力にあふれています。

■物件の立地特性や
■周辺環境を見すえたご提案

今回、ご紹介するのは4棟。街路樹の緑に瀟洒な外観が溶け込んだ、春日部の「ロイヤルオーク」。オーナー様の土地活用が早や数棟目となる岩槻上野の「キャンディッド」。そして、オーナー様を同じくする2棟、さいたま市緑区大門の



フォンス大門
東川口駅 徒歩15分
RC造3階建て・9戸

▲下方に重心を置いた外壁の2色の貼り分けが、3階建ての建物に重厚感を。T字に突き出た階段の最上階をおおう屋根は、雨天時には嬉しい。実はこうした配慮はなかなか賃貸ではされないもの



アベテ浦和美園
浦和美園駅 徒歩1分
RC造6階建て・34戸

▲1K・全34戸、駅至近の大型マンションは利便性に優れ、若年層に人気。1Kタイプでも標準のシステムキッチンが装備されるため、料理好きの方たちからはキッチンを見て喜びの声が上がるのがしばしばだとか

お客様の
ご紹介

未来の健康・安心の礎となる“予防”のための健診専門クリニック 医療法人 慈正会 レインボークリニック様



▲医療法人 慈正会
丸山正 理事長



▲中央の待合室から各検査室へ赴くつくりになっている。ゆったりと広い待合室は、健診の際に感じちな緊張感をほぐしてくれる

岩槻の国道16号線沿いからこの9月、岩槻駅前ワッツ東館の2階に移転・新装開院となったレインボークリニック。2階に上がると、虹色に彩られた入口が目飛び込んできて、気分が華やきます。レインボークリニックは保険診療は行っておらず、健診専門の機関。人間ドックや企業健診、特定生活習慣病予防健診を行っています。健診目的の方々が訪れる性格上、「できるだけ病院然としておらず、むしろ来院した方たちが元気な心持ちで帰っていただけるように」という丸山正理事長たっでの希望で、レインボーカラーが随所に採り入れられています。

中央の待合室を取り巻く壁にも、七色のボーダータイルが巡らされています。さまざまな検査室の入口にも七色のサイン。おそらく検査を受ける方

ちは、「次はピンクの心電図室へどうぞ」といったように案内されるのでは?と想像します。それだけでもだいぶ、緊張感が軽減され、穏やかな気分で検査に臨めるのではないのでしょうか。

商業ビルの中にテナントとして入居するかたちであったため、「周囲の店舗の営業妨害にならないよう、大きな音の出る工事は朝の7時半から9時までに限られていたのがハードでした」と、施工を担当した関口淳一主任。また、ほかのテナントの営業に影響する電気工事などは、夜間作業に回すことも多々。各方面への調整と配慮が求められました。しかし、そうした苦勞もかき消えるありがたいお言葉を丸山理事長から頂戴しました。

「実質的には『移転』なのでしょうが、気分的には完全に『新築』と捉えていま

す」と感慨をもらすのは、丸山理事長。「明るく開放的な雰囲気仕上がったことで、当院の新たなスタートに華が添えられました」そして、この「新築」を機に、新時代の予防医学へと足を踏み出したいと丸山理事長。

「これからの時代は、もっと各人が積極的に予防——未然に病気を防ぐことに関心を持たなければならないと思っています。健診を受けて『大丈夫、健康です』と言われると、その後も一生健康なんだと慢心してしまうのが日本人の悪いところ(笑)。しかし、その診断は何年も何十年も有効なものではないのです。医療関係者や市民団体、行政などが手を組んで予防医学とその啓蒙に取り組んだ結果、日本が誇る長寿県へと生まれ変わった長野県の成功例に学ばなければなりません」(丸山理事長)



▲受付カウンターの後ろの壁も鮮やかなレインボーカラー。岩槻城址公園の風景が虹色のなかに織り込まれています。

レインボークリニックでは法人や健康保険組合だけでなく、一般の方への健診にも広く門戸を開いています。みなさんもぜひ、定期的な健診で「安心の更新」を。



▲セールス・エンジニアリング事業部
管轄グループ
関口淳一 主任

レインボークリニック様へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-758-3891 まで

【住所】〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町3-2-5 ワッツ東館2階
【URL】 <http://www.rainbow-clinic.jp/>

お客様の
ご紹介

県下最大級の店舗完成! 環境に配慮したエコストアとしても話題に スーパービバホーム岩槻店様



▲建坪8千4百坪超の威風堂々たる店舗が完成

LIXILグループの超大型ホームセンター、スーパービバホーム岩槻店がこの12月、堂々オープンしました。売場面積5900坪、駐車台数は千台という県下最大級を誇る新店舗の誕生です。このたびの出店計画は、得意先の事業所跡地を、有効活用の観点から弊社が斡旋させていただいたことからスタートしました。

住まいと生活に関するありとあらゆるものがそろったことで有名な当店ですが、

一方で環境に配慮した「エコストア」であることも岩槻店の特徴。照明にはすべてLEDが使用され、他にも太陽光発電、地中熱利用空調、無水便器など、環境にやさしい設備を各種備えています。中でも工事のポイントとなったのは雨水利用設備。広大な敷地の地下には、防火水槽やいくつもの巨大な貯留槽が埋まっています。「工事の性質上、建物の着工前に絶対に終了させなくてはならず、後の工程に響くので一切遅延も許されな

い厳しい工事。夏の繁忙期とも重なって、社内で壮絶な人材の取り合いになりました(笑)」と、外構(外回り)を担当した鍋川原伸之係長は振り返ります。

今回の施工は、以前あった建物の解体工事から数えると足掛け1年という長丁場。大規模工事であるだけに騒音や振動が懸念され、施工時間制限などを近隣住民の方々との間で丹念に交渉することで乗り切りました。現場を統括した伊藤賢太所長が、竣工の感想を「何は



▲オープン前には近隣住民の方々を招いて植樹祭が開催された。LIXILビバ豆成社長(左)と弊社社長



▲建築部 工事グループの伊藤賢太所長(左)と、土木部 工事グループの鍋川原伸之係長も晴れやかな気分

ともあれホッとしました」と表現したのもうなずけます。しかし、気苦労以上にやり甲斐があったと伊藤所長。「この工事は弊社にとって今年(第49期)最大の事業。これを成功裏に収めたことは、来たる創業50周年へ向け大きな自信と活力になりました」

スーパービバホーム岩槻店様へのお問い合わせは ▶▶▶ TEL: 048-791-6211 まで

【住所】〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内3-7-1
【URL】 <http://www.vivahome.co.jp/>

さいたま市商工見本市、開催
「コラボさいたま2012」に出展しました

11月9日～11日の3日間、さいたま市、さいたま商工会議所などが主催する、県下最大級の商工見本市「コラボさいたま2012」がさいたまスーパーアリーナで開催されました。さいたま市を拠点とする多数の事業者が自社製品などを出展するこの見本市に、松永建設も出展。さいたま市の清水勇人市長にもご来訪いただきました。



▲弊社・松永 功会長は、さいたま商工会議所・会頭としてオープニングセレモニーでのテープカットに参加。

当ブースでは、土地活用に最適な賃貸マンション経営「ABオービット」や、太陽光発電システムを中心としたリフォーム事業「エコリフォーム」をご紹介。エアロバイク発電機を漕いで、太陽光パネル1枚分の発電量を実感するコーナーでは行列ができるほどの好評ぶりでした。ご来場してくださった皆様、誠にありがとうございました。



▲発電量を体感するエアロバイク発電機は老若男女に大人気。「発電って大変なんだね」

さいたま市のさらなる成長と発展のために——
地下鉄7号線延伸を実現させよう!

地下鉄7号線は目黒～赤羽岩淵～浦和美園(35.9km)を結ぶ、東京メトロ南北線と埼玉高速鉄道線の総称。この7号線を岩槻まで延伸させ、都心まで1本で結ぼうというのが地下鉄7号線延伸計画です。松永功会長が会頭を務めているさいたま商工会議所では、かねてよりこの7号線延伸の実現に向け、さいたま市や市民団体等と連携をはかり種々の活動を行っています。

松永会長が中心となり、延伸の事業化に取り組む市の応援団「さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会」が去る9月19日に設立され、その会長に江田



▲計画を推進するための活動には、市民のみなさんの理解が必要と松永会長

元之氏が就任、同日総会が開催されました。期成会の当面の課題は会員拡大であります。期成会の目的をしっかりと受けとめ、推進活動の輪を広げる呼びかけをして参ります。地下鉄7号線延伸の早期実現は、さいたま市東部地域の発展は勿論のこと、さいたま市全域の経済活性化につながる大きなプロジェクトであります。

岩槻まつりで「岩槻を元気に!」を今年も発信
「松永サマーフェス2012」大盛況!

8月19日に開催された「人形のまち・岩槻まつり」に今年も松永建設グループは参加し、恒例の「松永サマーフェス」を開催しました。お客様や地元住民の方々、日々我々を支えてくれている家族を社員総出でおもてなしする趣向で、夏の夕べを演出しました。特設ステージでは、社員によるバンド演奏や、関係会社の介護施設「うらら岩槻」の職員によるよさこい踊りなどが盛り上がりを見せました。社員たちが運営する焼きそばやかき氷などの屋台も大盛況で、

「はい、大盛りだよー!」「ビールお待たせ」と汗をかきながらおもてなし、夜は更けていきました。この日の収益金は全額、日本赤十字社に寄付したことをご報告いたします。



▲社員みんなで手作り料理でおもてなし



▲祭りの定番「社長」バンド!



▲お客様方や家族で会場は賑わいました

「迫力」のなかに国を守る心を知る
「富士総合火力演習」見学会に参加

去る8月23・24日、松永都市開発(株)の関根 侑常務が、埼玉県防衛協会(松永 功会長)が主催する見学会に参加し、「富士総合火力演習」を見学して参りました。富士総合火力演習はテレビ等でも皆様ご存知の通り、自衛隊活動への一般の理解を促すために陸上自衛隊が公開して行う演習。戦車やヘリコプター、さまざまな火砲などによる実弾射撃を見ること

ができます。今年は隊員約2400名が参加、そして戦車・装甲車約80両、各種火砲約80門、航空機等約30機が使用されました。国内最大級規模の迫力ある演習に3万人を超える来場者から大きな歓声が上がりました。



▲静岡県東富士演習場畑岡地区で実施された演習より

社長の
男気
 コラム

目標を超えて感じたこと、それは「俺たちは、まだまだやれる」だった——
「節目の年」を控えた1年を終えて

冒頭でご紹介させていただいた埼玉県・さいたま市の優秀建設工事表彰、今年トリプル受賞という光栄な結果となりました。埼玉県から授与された特別奨励賞では私も知事公館に赴き、上田清司知事から直々に表彰状を頂戴し、ひとかたならぬ感激を覚えました。知事をはじめ、私共の工事を見守り、かつ評価をくださった関係各所の皆様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。今後とも受賞企業という立場に恥じることはないよう研鑽を積み、より良質な工事を行っていくことを誓わせていただきます。

今回に限りませんが、ひとえに受賞は社員の頑張りに多くを負っています。受注した工事の内容や目的、発注者の

意図や意向などをとことん考え抜き、発注者が期待した以上のものを造り上げたこと。だからこそ相手に感動を与えることができ、ひいては受賞へと結実したのではないかと、社員たちの動きを見て自負しています。そしてそれは必ず、お客様の事業の発展に小さいながらも寄与することになるのだろうと信じています。

この11月1日より、弊社は節目の第50期に突入しました。その前事業年度となる第49期、我々はある明確なミッションを自らに課し、1年を過ぎてきました。それは「目標数値に徹底してこだわらる」ということです。目標を超えるためにある、超えてみて初めて見える景色がある。それを社員一人ひとりに実

感してもらいたい——そんな想いで課したミッションでした。日頃の声かけはもとより、月に一度の全体朝礼でも毎回ハッパをかけ続けました。その結果、見事に第49期は創業以来、最高の業績を叩き出すことができました。

現場に向かっている社員が社に戻ってくる時刻、その時間帯を狙って私はよく喫煙所に行きます。喫煙所は社員通用口のそばなのです。「ご苦労さん、今日はどうだった?」目標数値に近づいてきた辺りからだったでしょうか、明らかに社員の顔つきは変わりました。初体験となる数十億円規模の案件を任せられた社員、複数の案件を任せられた社員、みな初めこそ不安な顔つきでしたが



▲第50期スタートを目前に控えたコンベンションにて。第49期の成功を祝い、第50期のさらなる飛躍を誓って拳を上げた

……気づけば「なんだ、俺、まだまだやれるな」という意欲旺盛で自信に満ちた表情に。「二度とこんな経験はしたくない」という顔は誰一人いませんでした。松永建設はまだまだ前進できる——そのとき私はそう確信しました。

意義のある1年を終え、最高の形でスタートすることができた第50期。感動創造建設会社として、我々はさらに飛躍します!